



巻頭特集

能代の未来を担う

若手農業従事者



白神山地の恵みをたっぷりと受けて営まれる能代の農業。少子高齢化に伴う担い手不足や耕作放棄地の増加など、その環境は年々厳しさを増していますが、ここ5年では89人が新たに就農し、ネギやキャベツなどを生産しています。自然が相手の大変さを実感しながらも、日々農業と向き合う若手農家の声を聞きました。



農業に興味を持ったらどうすればいい？

自治体に相談

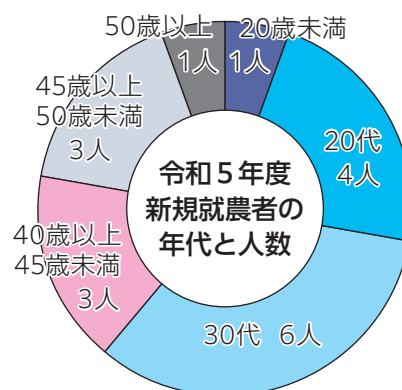
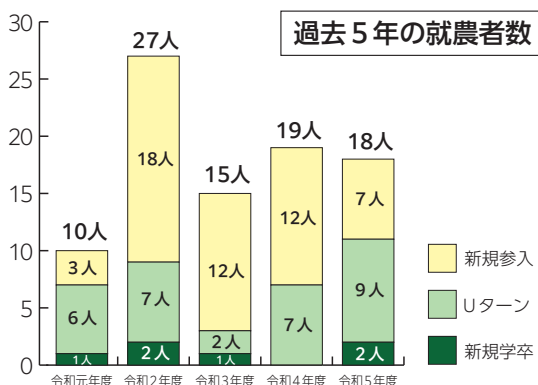
独立就農や雇用就農など希望の就農方法に応じてアドバイスします。

農業を体験

農家と求職者を1日単位で結び付ける「1日農業バイトアプリ」などがあります。

研修を受ける

農業技術センターなどで2年程度の研修を実施。基本的な知識と技術が学べます。



令和5年度は30代以下が半数以上を占め、生産する作物はネギが多数でした。